

左から鳴海・佐藤・酒巻・木津市長・鈴木・西村



現在、未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大と戦後最大の経済の落ち込みという国難に直面し、更に、多発する自然災害などが多様化する社会情勢です。公明党市議団(酒巻宗一団長)は、現状を踏まえ、「新しい生活様式」のもと、党の基本理念である「平和」「福祉」「教育」「環境」を柱とした市民が安全で安心して暮らせる街づくりを推進する市政運営を求め、木津雅晟市長に対し、令和4年度予算編成にあたり諸施策に関する要望書を提出致しました。

令和四年度
予算要望書を
市長へ提出!!

■ 新型コロナウイルス感染症対策

- ①: 3回目のワクチン接種を円滑に実施する為に、土日・祝日の実施
 - ②: 市民が副反応などの相談を市内の医療機関で出来る専門的相談体制の実施
 - ③: デジタル弱者等に動画配信(手話通訳付き)による丁寧な情報発信
 - ④: 全商工業者や農家の経済活動に対し多面的な継続支援
- 等、11項目にわたり要望致しました。

主な要望内容

1. まちづくり対策: SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、職員への意識啓発及び市民啓発の推進、マイナンバーカード活用推進、「ご遺族支援窓口」設置、投票率向上の為期日前投票所の拡充
2. 教育環境対策: 放課後児童クラブの拡充、がん教育の環境整備、適応指導教室に正職員の臨床心理士配置と教育環境整備、発達障がい児の校内支援体制推進、南部地区に図書館設置
3. 子育て支援対策: 多胎児家庭支援の拡充、ひとり親家庭支援の拡充、家庭訪問型子育て支援事業推進、産後ケアサポートセンター設置、子育て支援センター拡充
4. 福祉・健康推進対策: 生活困窮者支援対策、ヤングケアラーの実態把握と生活支援対策、聴覚障がい者施策促進の為に手話通訳士の正職員採用、女性のがん検診拡充、带状疱疹ワクチンの接種費用の助成
5. 高齢者対策: 2025年問題に備え在宅介護・介護予防・生活支援の拡充と医療機関と連携した在宅介護施策推進、高齢者への虐待防止対策
6. 防災・減災対策: 災害時にSNSを活用して市民からの情報収集システムの構築、女性防災リーダーの育成と女性防災組織の確立
7. 建設環境対策: 北部地区公共公益施設建設促進、三郷中央駅周辺の交通安全対策、通学路の防犯対策強化、道路環境整備推進、空き家の利活用促進と支援パッケージの策定、二郷半用水緑道未整備区間の早期整備、震災対策として水道老朽管更新の促進

等、111項目にわたり要望致しました。

～市民サービスの向上へ～ 市の窓口のキャッシュレス化が実現!

市民サービスの向上や行政の効率化に向けて、三郷市では市の業務のデジタル化に取り組んでいます。特にコロナ禍においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として非接触、迅速化が求められます。

令和3年12月よりセミセルフレジが開始し、令和4年2月にキャッシュレスも利用出来る予定です。様々なクレジットカード、電子マネー、QRコードに対応し、レジは市役所、みさと団地出張所に設置されています。

公明党市議団は、市のデジタル化の推進と共に、新型コロナ感染症対策として、窓口のキャッシュレス化を要望して参りました。



12月定例議会の一般質問要旨

不登校対策として「起立性調節障害」「HSC」への理解促進を!

起立性調節障害とは思春期に発症し、特に午前中にめまい、吐き気、頭痛などの症状が出る自立神経の不調による病気です。午後には元気になる為、病状が理解されにくい点が心配されています。「HSC」とは「ハイリーセンシティブチャイルド」と言い、生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質を持った人という意味で、病気ではなく全人口の15%~20%が生まれつき持っている気質のことを意味します。感受性が強い生きづらさを感じていると推察されます。どちらも不登校の原因となっている事が危惧されています。学校現場での対応について、先生方の理解促進の研修会等について質問しました。



©KOMETO

緊急サポートセンター利用料の助成を!

ひとり親家庭などでは、母親の緊急な入院などがあった際に、近くに頼れる人がいない場合子どもを預ける先に困ります。「緊急サポートセンター」では、利用者宅やサポーター宅で、病児・病後児保育、緊急的な一時保育、宿泊を伴う保育を行っています。利用料は宿泊の場合、1人1泊10,000円と、2人以上の子どもがいるとかなり高額になります。利用者負担を減らす為、ひとり親家庭に対し利用料の助成をする事について質問をしました。

《その他の質問》
コロナワクチン未接種者への配慮を



©NEW KOMETO

市の公共施設でスマホ教室を!

行政手続きのオンライン化で、インターネットを利用して様々な手続きができるようになり、市民の利便性向上が進められる一方で、スマートフォンなどのデジタル機器に不慣れた高齢者等への支援が課題となっています。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」として、国のデジタル活用支援推進事業で「スマホ教室」を、市の公共施設で開催する事について質問しました。



若者に健康診査の機会を!

30歳未満の個人事業主や専業主婦、フリーランスのかたが健康診断を受けたい場合、現状では補助が無く、全額自己負担となってしまいます。病気になったときに有給休暇や傷病手当金等のセーフティネットがない個人事業主が、自身の健康状態を把握し病気のリスクを未然に防ぐために、30歳未満の健康診査を実施する事について質問しました。



12月議会の概要

令和3年12月三郷市議会定例会が、11月29日から12月10日まで12日間の会期で開催されました。可決した主な議案は、次のとおりです。

- ①ピアラシティ中央公園及び交流センターの指定管理者の指定について
- ②長期優良住宅認定手続きの手数料徴収条例の改正
- ③地域型保育事業の記録等を電磁的記録に代えて行うことができる条例改正
- ④屋外広告物条例の改正
- ⑤令和3年度一般会計補正予算
 - ・生活困窮者自立支援事業の住居確保給付金
 - ・児童手当制度改正によるシステム改修委託料
 - ・子育て世帯への臨時特別給付金
 - ・飲食補助クーポン券事業補助金
 その他
- ⑥上水道事業特別会計補正予算
- ⑦公共下水道事業特別会計補正予算

飲食補助クーポン券配布の予算が増額されました!

新型コロナウイルスワクチンの2回目接種を受けた方に配布する「飲食補助クーポン券」の予算が増額補正され、12歳から15歳までのワクチン接種済みの方にも配布されることになりました。

三郷市議会では、各常任委員会等の視察の中止による議会調査事業費等を減額し、市が実施する新型コロナウイルス感染症対策の財源に充てることを市長に申し入れ、その予算が活用されました。

ワクチンの接種対象が12歳以上に拡大されましたが、今回の補正予算で、2回接種を受けたすべての市民にクーポン券が届けられることになりました。



公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715



西村 すみえ
☎958-8369

くらしの相談はお気軽!!

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状など時候の挨拶状は禁止されております